

小樽市上下水道ビジョン(素案)の概要

1 策定の目的

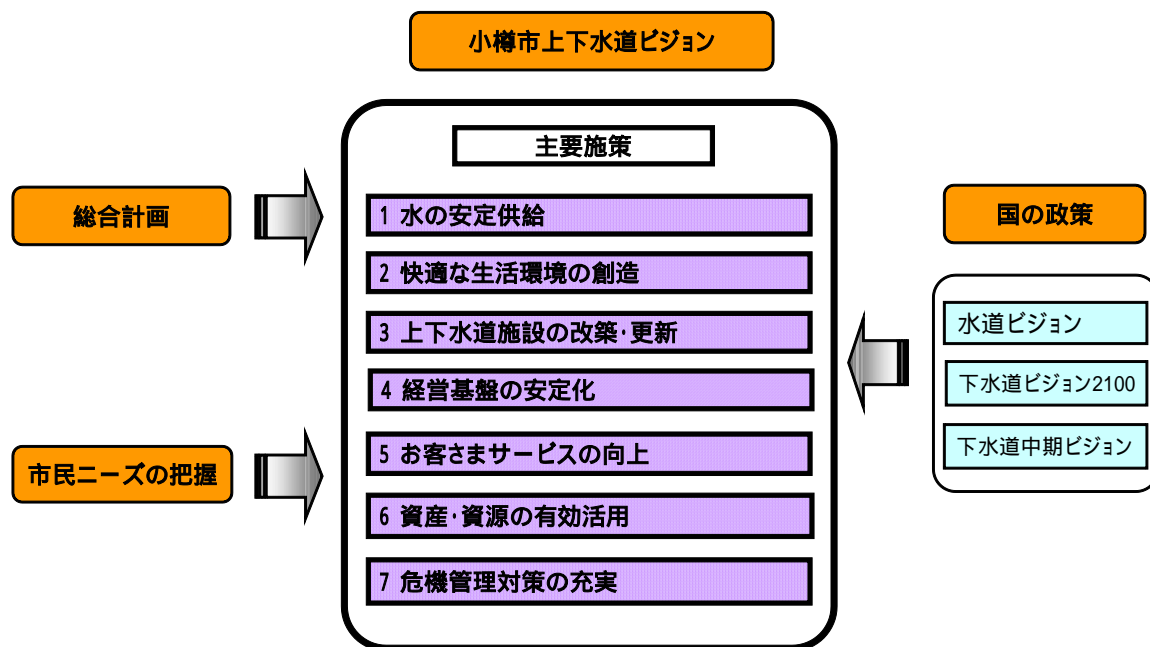
本市の上下水道事業の経営環境は、人口減少・少子高齢化や景気低迷などにより上下水道事業の根幹をなす料金収入が減少してきており、厳しさを増しています。

このような中、施設の老朽化や災害等に対する対応、経営基盤の安定化への取組、多様化するお客さまニーズに応じた良質なサービスの提供など、上下水道事業の課題が山積しています。限られた財源でこうした様々な課題に対処していくため、今後の上下水道事業のあるべき姿と目指す方向性を示した「小樽市上下水道ビジョン」を策定することとしました。

2 策定の考え方と施策の体系

このビジョンは、小樽市の全体計画である「第6次小樽市総合計画」を上位計画とし、厚生労働省の「水道ビジョン」、国土交通省の「下水道ビジョン2100」及び「下水道中期ビジョン」などの趣旨も踏まえるとともに、市民ニーズをアンケート調査により把握して策定しています。

また、施策の体系については、現状抱える課題の解決に向け、7つの主要な施策を掲げ、その目標達成のための取組の柱となる15の具体的な施策と41の実現方策を掲げています。



3 計画期間

「第6次小樽市総合計画」の計画期間である平成21年度から平成30年度までの10年間とします。

4 基本理念

『上下水道は市民の財産、お客さまとともに未来へつなげよう』